

(6年生)

西栗倉小学校では、5月13日に春の遠足に行きました。

3・4・5年生は、5年生がリーダーと副リーダーになって、縦割りグループに分かれて駒の尾登山をしました。それぞれのグループでの様子をお知らせします。

困った相談(野々上涼一&清水愛華)

12日に遠足に向けて相談をしました。リーダー、副リーダー、遊び係、励まし係はすぐに決まりました。次にチーム名を相談しましたが、なかなか決まらなかった。先に列の並び方と約束を話し合いました。それをもとに決まりました。

最後に、課題のチーム名をもう一度考えました。

「やっぱりイーグルがいい。」

と言った人がいましたが、いやという人の方が多かった。イーグルになりませんでした。

「全員青色なので、ブルーがよかった方がいい。」

と言った、たれかが

「ブルースターズがいい。」

と言ったので多数決を採りました。全員一致で「ブルースターズ」に決まりました。

ほかのごときはすぐに決まったのに、チーム名でもとても時間がかかりましたが、決まっただけでした。

最後にチームの紹介をしてから解散しました。

楽しかった「オオカミさん今何時」

(木村正樹&赤代未来)

バスで登山口に着くと、最初にグループで遊びました。「たるまさんが転んだ」をしました。がすぐにやめて「オオカミさん今何時」をしました。

何時」をしました。小林先生とノア先生も一緒にしました。

最初の鬼を決めるときに拓磨君と雅仁君がじゃんけんをしました。拓磨君が「最初から。」

と言った。パーを出して勝ちました。雅仁君は少し不満げでしたが、そのまんま楽しくやっていました。一回目は琢磨君がもう少しでつかまえられるようだったけど、つかまえることができなかった。続けて鬼をしました。その次は、誰か忘れたけど鬼になりました。ぼくが転びそうになったときには、いろいろな人が助けてくれました。ほかにもいろいろなことがありました。

後でハンカチ落としもしました。

私は、遊び係の人が楽しい遊びを考えてくれて、みんなで楽しく遊べてうれしかったです。

探検に行った(青木浩志&佐多真優美)

登山をする前にグループで探検に行きました。

最初は並んでいたけど、リーダーより速く行く人がいたので注意しましたが、今度は遅れる人がいました。困ったので相談して男子をリーダー、女子を副リーダーが連れていくことにしました。男子は先に、女子はゆっくり行きました。

頂上に着いて、最初にみんなでチーム名を叫びました。チーム名は「ザ・ファイヤーファイターズ」です。ちょっと休憩をとっていると、危ない所へ行く人がいたので注意しました。

降りるときは急な坂だったから、スピードがついて転びそうになりました。男子が先に降りて女子を待っていました。登る時は大変だったけど、降りる時は楽しかったです。

励ましあって駒の尾登山

(山本泰津美&横林祐也)

雨の心配がなくなったので、いよいよ登山開始です。最初の休憩所まではみんな登ることができました。けれども、それからちょっと祐也さんが遅れてきました。みんな疲れてきていたけど、励まし係の人たちが、「がんばって。」

というかけ声をかけていたので最後までみんな登ることができました。

下山の時は登山の時より楽に下りることができました。裕也さんはちょっと遅れたけど、みんな元気に帰ってきました。

登山口の所で小林先生が待っていてくれました。みんな助け合って春の遠足を楽しむことができてよかったです。

がんばって歩いた登山(山崎修吾&延東響)

「がんばったなあ。」

「うん。がんばったなあ。」

みんなで力を合わせて登った登山。苦しいことも楽しいこともたくさんあった登山。私たちは、みんなに気を配りながら行きました。登りはとても足が疲れました。続く道は階段だらけで、とても足が疲れたかったです。それでも、みんなすくすくがんばっていて、見ているだけで私たちリーダーもがんばれそうな気がしました。後ろのチームの諒一君も、弘明君も

「がんばれ、あと少しじゃけん。」

と優しく言ってあげていました。弘明君も元気が出たようで、

「ようし。」

と自分や言うて前の人にがんばって付いて行っていました。私たちアンパンマンズも後ろのブルースターズも遅れた人を待っていてくれたのがとてもうれしかったです。

頂上ではおにぎりを食べました。頂上から風景を見ながら食べるおにぎりは、最高においしかったです。

苦勞した登山と下山

(下西輝幸&金澤愛)

楽しみにしていた遠足の日。登る時はちょっと暑くて冷たい風も吹いていて、みんな「寒い。」

と言っていたけど、登り始めた体が熱くなってきました。ぼくは朝から足が痛かったけど、リーダーなのでがまんして歩きました。

一回目の休憩場所は見晴らしのいい、気持ちのよい所でした。そこであめを一つずつ食べました。

頂上まで登って下山する時はとても降りにくかったし、加速がついて前へ行き過ぎてとても大変でした。列もばらばらになったけど、一回注意したら元に戻ってくれました。

やっと登山口に着きました。私は(副リーダーとして、役目を果たすことができた。)と思いました。



▲がんばれ！山頂までもう一息。